

		第	特定非営利活動法人 愛逢
		20	尼崎市小中島1-20-21
		号	電話 06-6493-1424
			FAX 06-6493-1443
			発行責任者 坂本敬子
			発行日 2008年3月21日

移送サービスはまもなく大幅に縮小となります

今年度からNPO法人による移送サービスが「新しい制度」(福祉有償運送)に移行することになりました。

この制度に移行すると、(1)料金はタクシーの半額にすること、(2)普通乗用車の使用は認めない(福祉車両のみ)、(3)整備士や運行管理者を置く、などのタクシー会社なみの厳しい条件が課せられることになりました。今の愛逢は、これらの条件を満たす人材も財源もないのが現状です。

つきましては、誠に残念ですが2008年3月31日をもって愛逢の移送サービスは自立支援法に基づく援助活動のみへと、大幅に縮小することになりました。

会員の皆さまには、「愛逢くらぶ」の時代から、多大のご支援、ご協力をいただいていただけに、今回の決断は断腸の思いです。諸事情を理解いただき、ご了承下さいますことを節にお願いいたします。(滑川)

会員登録更新と入会のお願い

会員の皆さまには、NPO法人愛逢の活動にご協力いただきありがとうございます。4月1日で会員登録の更新の時期となりました。昨年同様、引き続きましてお力添えの程よろしくお願ひ申し上げます。

また新たに私達と一緒に活動していただける方は、正会員として、活動に賛同し、支援していただける方は、賛助会員としてお申込み下さい。

正会員：年会費 3,000円 入会費：2,000円(正会員のみのみ)

賛助会員：年会費 2,000円

※お問い合わせ 電話 06-6493-1424

NPO法人愛逢 第5回総会

日時 5月17日(土) 午後6時

会場 小中島福祉会館(2F)



第2回理事研修会を開催し

愛逢の将来構想について討議しました

3月15日(土)、16日(日)に昨年に引き続き、第2回の理事研修会を行いました。今回は昨年末に開設したばかりで、ピカピカの阪神医師協「わかくさ診療所」をお借りしての研修会でした。

2040年にはピークを迎える死亡人口(国立社会保障・人口問題研究所の推計)、一方では早期退院、老々介護、一人暮らしと最後を何処で迎えるのかが大きなテーマとなります。そんな中で本当に自分の家ではないけれど、住み慣れた地域で自分が主として暮らせる空間＝もう一つの自分の家が選択肢の中にあってもいいのでは、そんな家を作りたい、初日はそんな夢を実現するために皆で討議しました。実現には課題が山積しています。私たちも未経験で分からないことばかりですが、建設に向けて色々調査し、方向を見定めたいと思っています。

ます。今後皆様のご協力も得ながら進めていきたいと思っています。

二日目は昨年に引き続き、兵庫県立大学の當間先生のご指導を得て、SWOT(S: Strength, 強み、W: Weakness, 弱み、O: Opportunity, 機会、T: Threat, 脅威: 戦略計画ツール)、BSC(バランススコアカード。業績評価システム)という二つの経営戦略を構築する手法を用いました。事前各自が出し合ったSWOTで現状認識を共有しました。そして今年度の課題の実践状況を評価したものと、SWOTから取り組むべき課題を出し合ったものを併せて今年度のBSCを作成しました。また今年度、成果があった地域での共催フォーラムやNPO交流会などネットワークを拡げる活動にも力を入れることが確認されました。

(兼行)

・・・雪まつりを楽しみました・・・

2月11日(祝)、第16回ふるさと雪まつりに参加しました。今年はこの2日前に関西では久しぶりの大雪でしたが、当日は天気がとても良く、多くの人でにぎわいま

した。子どもたちは雪に大喜び。NPO愛逢は今年も豚汁を販売しましたが、あっという間に売り切れてしまいました。

(富松)



ミッション(社会的使命)

私たちは多様な生き方が尊重され、
誰もが安心して暮らせる地域を作る為に、
仲間と支えあい(愛)、つながり(逢)っていきます。

高齢者だけの医療保険はじまる

4月から変わる高齢者の医療保険制度について阪神医療生協・組織部長の西川英樹氏にご意見を伺いました。

“高齢者医療の目的であった「健康の保持」が削られ、「医療費の適正化の推進」に文言が変わっています。これは大きな方針転換で、医療費の伸びが加入者の保険料に直接跳ね返りやすい仕組みに変わることを意味します。

政府与党は当面保険料の抑制に努めるでしょうが、医療費の適正化の推進という目的のもと、保険料値上げが将来避けられないことが予想されています。なお保険料は今年4月から年金天引きです。

病院での窓口負担は高額所得者を除けば1割で今とは変わりませんが、新しく「後期高齢者診療料」という包括型の医療点数ができました。これまでの出来高型では、検査、画像診断、処置はそれぞれに点数が加算されて請求されていたのが、これらをまとめて定額の六百元（1割）負担になります。これ以外の点滴とか、注射、リハビリなどは六百元の上に加算されて請求されます。なんだか電話会社の定額プランみたいですね。

高齢者を前期と後期とわけたりしてその次はいったい何？と思います。なにより名前が悪いと思いませんか。”

—— 料理教室（ヘルパー研修） ——

愛逢には最近、若いヘルパーさんが多くなっています。利用者さん宅で食事を作ることがあるため、レパートリーを増やす意味で料理教室を企画しました。今回の先生は社協でこれまでヘルパーをされ、お料理が大好きな南方先生。第1回が2月29日に行われました。

以下は参加された目堅さんの報告です。（スペースの関係で一部割愛させていただきました。）

遅い時間と冷え込みの厳しい折にも関わらず、参加者21名・内（子供6名：男性2名）と集まり大盛況。中田さんレジュメ紹介後、各自エプロン・バンダナ着用し厨房に移動、

先生の指示どおり大根皮むき、白菜洗い、人参皮むき等を各自手際よく行っているようで、皮むきなどはベテランさんとの差が??? 厨房内はワイワイ、ガヤガヤ活気に溢れ、別部屋では子供の泣き声・・・分担した訳でもないのにだれかれなしに子どもの面倒、出来た食材を器に盛るもの、後片付けする者等々あり輪が一つに?なりスムーズ事が進んだ。後は出来上がりを食すだけ。多めに料理した食材もきれいに平らげました。今後も2～3ヶ月に一度の開催を予定しています。



寄付金をいただきました

(敬称略)

NPO法人移動送迎支援活動情報センター 正道 菊花 兼行 栄子 仲本 文子
富松 英二 (故)藤本 富士雄 橋平 浩子 楠見 道行 坂本 敬子
岸本 節夫 の方々に当会の趣旨にご賛同頂き、ご協力頂きましたことを厚く
お礼申し上げます。 (期間：12月16日～2月29日)

— インド紀行 (その1) —

私がよく行くインドについて、まずこの国の多様性から紹介します。

雪を頂いた山々から椰子で囲まれたビーチ、肥沃な平野から不毛な砂漠、それがインドなのです。牛の荷車が泥道をゆっくりゆっくりと動いていくといったような、まるで時が止まってしまったかのように感じ



られる場所もあります。しかし一方では、世界最新レベル

をいく近代化された場所も存在し、ソフト

ウェアテクノロジー産業では世界規模のビジネス組織がIT(情報技術)の莫大な可能性を活用できるような製品を大量生産している。その結果2005年のGDP(国内総生産)成長率は9%にも達しました。でもとても貧しい国です。

11億の国民の3人に1人は、いまだに1日の生活費が1ドルにも満たない、極端に貧しい生活を余儀なくされています。また劣悪な条件下で過酷で危険な労働を強いられる児童労働者(5才～14才)は世界で2.18億人。その中でインドの児童労働者は0.6億人にも上るといわれています。(出展 NPO ACE 2006/9)

< t o m y >

(続く)

ホ ッ ト 待 夢



春を探しにデパートへ行きました。デパ地下の入り口で「イチゴケーキ」が先ず目に入ります。女性はこの甘い美味しいケーキで味覚から春を感じるのでしょうか。私はカロリーオーバーで眺めるだけで通りすぎます。階を昇っていくと節句を祝う雛壇が迎えてくれます。「緋もうせん 桃ほころびて ひなの笑み」春いっぱいでした。昔、孫にきばってひな飾りを買ってあげたのは私の春だったのでしょいか。

もう売ってましたランドセル。カラフル、形もいろいろ。昔は黒か赤かだけだったのに、最近の鞆は一つ一つが自己主張して並んでいます。入学式には、どんな子がどの鞆を背負っているのだろうと、デパートは春爛漫でした。

私ども愛逢も、もうすぐ新年度を迎えますね。

< 淑女 >